

## 第二次調査の結果に関して

当社では、フジテレビに関する一連の問題を受けて、出演者やその関係者と社員との関係性に問題がないか実態を把握するための第一次調査を制作現場やアナウンス部を中心に行い、会食等での不適切な行為の報告はなかった旨、1月22日に公表しました。

その後、コンプライアンス担当部門が、アナウンサー全員および業務において取引先との会食が必要な部署の一部の社員に対して、より丁寧で広範な第二次調査を行いました。その結果、あらためて番組出演者からの不適切な言動は確認されませんでした。ただ、趣旨が分からない会食に呼ばれた、管理職から女性の役割として会食の場を盛り上げるよう言われた、会食の出席者から連絡先を聞かれたなどの報告がありました。こうした事案については、それぞれ調査対象者の意向を確認した上で、必要な対応を行っております。

なお当社では人権に対する取り組みの一環として、先月、人権をテーマとしたコンプライアンスハンドブックを発行しました。今後、この冊子をもとにすべての社員を対象に研修を行うなど、引き続き人権尊重の意識を高めてまいります。